

Exhibit Collection

@Sound Messe 2017

2017
4.15-16
Sound Messe 2017
Booth No.
A-30



≪≪ 2017 年だけの年間限定制作

Standard series

40周年記念ヘッドロゴ仕様
HD-115/STD
¥195,000(税抜)
レギュラーのHD-115/STDは筆記体のHeadwayだが、今年制作するモデルはブロック体ロゴを採用。

Standard series

HD-115 MAG/STD

限定 15 本制作

HF-415 MAG/STD

限定 10 本制作

¥235,000(税抜)

サイド・バックに美しい空の入ったマグノリア(ホオノキ)を使用。伸びのあるサウンドが心地良い。

Standard series

スタンダードシリーズ

ヘッドウェイのギター作りの経験を生かし、上位クラスの持つ「長く弾き込める安心感」をそのままに、製作工程や一部仕様を見直し、ハンドメイドでありながらコストパフォーマンスに磨きをかけた製品ラインナップが「ヘッドウェイスタンダードシリーズ」です。HD-115、HF-415といったヘッドウェイの基本となるモデルから、桜やマグノリアといった個性的な木材を使用したモデル、カットウェイシェイプのモデルなど、バリエーション豊かなラインナップを用意しています。



Japan Tune-up

ジャパン・チューンアップシリーズ

ギターの最終的な品質を決定づける「組込み」。楽器の品質が演奏面、サウンド面にダイレクトに影響するアコースティックギターならばなおさらです。Headway Japan Tune-up シリーズはアジア工場を組み上げたギターに対し、ナット・ブリッジ・フレットの仕上げ、弦高のセッティングは徹底的にこだわりました。国内工場の職人たちが文字通り「チューンアップ」させることにより、より弾きやすく、洗練されたギターへと昇華させた、コストパフォーマンスに優れたシリーズです。

Celebrating 40th Anniversary 1977-2017 40周年記念ヘッドウェイ特集

2017年6月頃発売予定

Japan Tune-up series

ローズサイドバック・合板

HD-770S

HF-770S

¥70,000-

JTシリーズ待望のローズウッド・サイドバックのモデルが遂に発売決定です。ローズならではのバワフルなサウンドをお楽しみください。

2017年6月頃発売予定

Japan Tune-up series

カットウェイ・エレアコ仕様

HOC-580SE

¥80,000-

プリアンプにFishman Isis+を搭載するエレアコモデル。ボディカラーはBlackの他Natural、Brown Burstを展開。

好評
発売中



Japan Tune-up series

マホガニーサイドバック・単板

HD-590AS

HF-590AS

HJ-590AS

¥59,000-



Japan Tune-up series

マホガニーサイドバック・合板

HD-560S

HF-560S

HJ-560S

¥56,000-

オール単版の「590AS」とトップ単板仕様の「560S」をラインナップ。HD、HF、HJという主要シェイプを用意し、日本の職人がナット・サドルを始め各部のチューンナップを施す安心の1本。



Japan Tune-up series

おさむらいさんシグネチャーモデル

HJ-OSAMURAISAN

¥65,000-

ギタリストおさむらいさん初のシグネチャーギター。購入者特典を付属。

Celebrating 40th Anniversary 1977-2017

1977年に長野県松本市でヘッドウェイギターズはスタートしました。83年にエレキギターの生産にシフトして以降、しばらくの間アコースティックギターの生産は休止状態にありましたが、1999年に復活し、現在までアコースティックギターを作り続けています。

ギタークラフトマンの百瀬恭夫とヘッドウェイ株式会社 創業者の八塚恵が始めた工場は当時より少し規模が大きくなりましたが、「ハンドメイドでより良いギターを作る」という基本の姿勢は今も変わりません。

2017年の今年、ヘッドウェイギターズは40周年を迎えました。これまで百瀬恭夫と職人たちが作り上げてきたギター作りの哲学を確実にギターという形にするべく一層邁進してまいります。

株式会社ディバイザーウェブサイト内「ヘッドウェイ40周年記念特別サイト」では、社内インタビューとして、百瀬恭夫、八塚恵、そして99年ヘッドウェイ復活のきっかけとなったファンサイト「Headway Guitar 最高！」管理人・吉田栄一氏を迎えて創業時からヘッドウェイ復活以降までのエピソードを瑞々しい言葉で語って頂きました。この紙面ではお伝えしきれない「ヘッドウェイのこれまで」をお確かめください。

今年はアンバーサリーイヤーです。年間を通して特別モデル、限定モデルをリリースしてまいります。歴史を重ね、さらに勢いを増したヘッドウェイギターズにご期待ください。



株式会社ディバイザー

〒399-0033 長野県松本市大字笹賀 7072-6

TEL:0263-86-8808 / FAX:0263-86-8778

2017.4.15-16
Booth No. A-30



弾くもよし、聴くもよし。 ヘッドウェイの

ヘッドウェイギターズでは2014年頃から桜の木を使用したギター作りを始めました。一般的な木材とは異なり、桜独特の音をバランス良く楽器に仕立てるには相応の時間と細部の微調整を必要としましたが、出来上がったギターは、それぞれどこかなく和の香り漂う深みのある音を奏でます。ぜひ今年の「弾く桜」をお楽しみください。

桜

ASKA Team Build series
HD-SAKURA DX III 限定 14 本制作
HF-SAKURA DX III 限定 7 本制作
HJ-SAKURA DX III 限定 4 本制作
 ¥380,000(税抜)
 桜の中でも日本人に最も親しみ深い桜、「ソメイヨシノ」の木を使用した限定モデル。

Standard series
HC-SAKURA ¥265,000(税抜)
HC-Yozakura ¥285,000(税抜)
 待望の桜ギター「カッタウェイモデル」が遂に発売開始です。リアンプを搭載し、取り回しの良さも抜群です。

ソプラノウクレレ
HUS-SAKURA ¥130,000(税抜) 限定 40 本制作
HUS-Yozakura ¥140,000(税抜) 限定 40 本制作
 桜の木を使用したソプラノウクレレを制作。桜ならではの優しいサウンドが心地よく響く。

ウクレレギター
HUG-SAKURA ¥150,000(税抜) 限定 20 本制作
HUG-Yozakura ¥160,000(税抜) 限定 20 本制作
 6 弦ウクレレギター・「UG」が久々の完成！桜の木を使用した 40 周年記念モデルです。

ARS
ASKA Team Build series
HD-115 ATB ARS
HF-415 ATB ARS ¥250,000(税抜)
 ヘッドウェイ従来のプレイングパターンからのクロス位置を若干ブリッジ側に寄せることで音の分離感、粒立ちが揃い、力強いサウンドが得られました。(Advanced Rear Shift) 試作段階を経て現在本生産が進行中！新たなヘッドウェイの指針となり得る1本の完成をどうぞお楽しみに！

2017 年注目の「アドバンスド・リアシフト・プレイング」

百瀬恭夫制作
HD-SAKURAFUBUKI
 独特な漆の入った極上の桜を使用した「桜吹雪」を想起させるデザインの一本です。

安井雅人制作
HD-Yozakura Y's Special
 南信産のソメイヨシノを使用した安井雅人によるカスタムモデル。指板には敢えてエポニーを使い、落ち着いた印象にまとめました。

Standard series
HD-Yozakura/STD
HF-Yozakura/STD
HJ-Yozakura/STD ¥270,000(税抜)
 桜をイメージさせる絶妙な色合いの「夜桜ブラック」カラーでカラーリングしました。



「ギター裏側を覗いてみれば、そこに職人のこだわりが見えてくる」とはいえ普段はなかなか見ることが出来ないプレイング。ヘッドウェイ・飛鳥チームビルドシリーズが2017年発表する新モデルは、「ARS(アドバンスドリアシフト)」プレイングという今までのヘッドウェイには無かった新たな試みです。Xプレイングの交差がブリッジ寄り位置することで音の芯がより明確になり、全弦のバランスがより整いました。強度面でもメリットがあり、弾き込む事による「音の成長」にも期待が持てるプレイングです。



Celebrating 40th Anniversary 1977-2017 40 周年記念 ヘッドウェイ特集



A.R.S. Bracing

「ギター裏側を覗いてみれば、そこに職人のこだわりが見えてくる」とはいえ普段はなかなか見ることが出来ないプレイング。ヘッドウェイ・飛鳥チームビルドシリーズが2017年発表する新モデルは、「ARS(アドバンスドリアシフト)」プレイングという今までのヘッドウェイには無かった新たな試みです。Xプレイングの交差がブリッジ寄り位置することで音の芯がより明確になり、全弦のバランスがより整いました。強度面でもメリットがあり、弾き込む事による「音の成長」にも期待が持てるプレイングです。

「ギター裏側を覗いてみれば、そこに職人のこだわりが見えてくる」とはいえ普段はなかなか見ることが出来ないプレイング。ヘッドウェイ・飛鳥チームビルドシリーズが2017年発表する新モデルは、「ARS(アドバンスドリアシフト)」プレイングという今までのヘッドウェイには無かった新たな試みです。Xプレイングの交差がブリッジ寄り位置することで音の芯がより明確になり、全弦のバランスがより整いました。強度面でもメリットがあり、弾き込む事による「音の成長」にも期待が持てるプレイングです。



Master Builder

百瀬恭夫
 ヘッドウェイマスタービルダーの百瀬恭夫はギター作りの道に入り2017年で54年目を迎えます。1977年にヘッドウェイ株式会社創立以来はアコースティックギター、エレキギター、エレキベース制作に携わり、これまで数千本のギターを手掛けてまいりました。1999年以降はアコースティックギター制作に集中して取り組み、2015年には長野県知事表彰「信州の名工」を受賞。今なお制作に対する意欲、ギターの品質向上へ向けての追求は留まるところがありません。



百瀬恭夫制作
HD-280 CUSTOM #3041



百瀬恭夫制作
HD-420 CUSTOM KOA #3038



百瀬恭夫制作
HD-280 CUSTOM #3040



百瀬恭夫制作
HD-280 CUSTOM KOA #3037

ヘッドウェイを代表する二人のクラフトマン。 唯一無二の価値を体現する至高のギターを一堂展示！！



安井雅人制作
HD-CONCEPT #Y16
 重く硬質なグラナディオをサイドバックに使用したモデル。リアシフトプレイングを基とするアプローチでシャープなサウンドを狙った一本です。



安井雅人制作
HD-CONCEPT #Y17
 「キングウッド」と「古材処理ホンジュラスローズウッド」を使用したモデル。サイド・バック板はそれぞれ2つの材を合せたものを使用しました。



安井雅人制作
HD-KAJIKI
 躍動感のあるインレイが引き立つ1本。サイドバックの鮮やかなブルーが美しく仕上がりました。



Craftmanship

安井雅人
 一流のギタークラフトマンは加工技術そのものだけでなく、状況を俯瞰する視点、柔軟な発想、その発想を形にする実行力も持ち合わせているものです。2002年から本格的にギター作りの道に入った安井雅人は、飛鳥チームビルドシリーズにおけるチームの実質的なリーダーとしてその力を発揮。現在はこのシリーズと平行して、自身のカスタムモデル制作も行います。その手から生み出されたギターは、百瀬のそれとは違う、「次代のヘッドウェイ」とも言うべき気迫に満ちています。ヘッドウェイと安井雅人のこれらにご注目ください。



Aska Team Build

飛鳥チームビルドシリーズ
 1999年 HEADWAY GUITARS 復活以降、百瀬の下で10年のキャリアを積んだ数人のメンバーで製作します。百瀬がそのキャリアから導き出した製作工程そのまま継承し、ジョイントの仕上がりが美しい「ネックの後仕込み」や、高精度な作業を必要とする「アリ溝ジョイント」といった手法を採用。その他にも細部に渡って製作者の気の行き届いた楽器に仕上がっています。長く使い込んで欲しいという飛鳥工場の職人のこだわりが込められた、価値あるラインナップです。



2017年4月末頃発売予定
ASKA Team Build series
HD-40th/KOA II
 ¥350,000(税抜)
 ボディサイド・バックにコアを使用した40周年限定の豪華なモデル。プレイングは注目！「Advanced Rear Shift」を採用しました。

2017 年限定 "115" いよいよ最終ロットへ

ASKA Team Build series
2017HD-115ATB
2017HF-415ATB
HD, HF 合計 50 本制作
 ¥380,000(税抜)
 古材処理を済ませたホンジュラスローズウッドによる、倍音豊かな鳴り。指板には長野県の県花「リンドウ」がデザインされている。



限定アイテムも続々！！

ヘッドウェイギターズでは桜をイメージしたピック、40周年記念ピックなどオリジナルピックを続々制作中です。最新情報はヘッドウェイウェブサイトにてご確認ください。各¥100(税抜)
 マスタービルダー百瀬恭夫をデザインに取り入れたオリジナルマグカップ。強力なインパクトを放つゴールドカラーです。オリジナルマグカップ¥2,000(税抜) ※近日発売予定